

# 笑顔

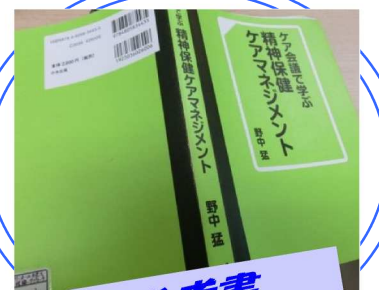
熊本市高齢者支援センター ささえりあ帯山  
 熊本市中央区保田窪1丁目1-33 第2大田ビル1階  
 第24号 電話:096-241-0230 FAX:096-241-0232  
 平成25年7月 E-mail:sasaeriaobiya@kyouninkai.jp  
 http://www.kyouninkai.jp/obiya/



区内のふれあいいきいきサロンで「皆さんは、介護が必要になったとしたらどこで生活をしたいですか？」と質問をすると、大半の方々（ほぼ九割近く）が「やっぱり家がいいですよ」との答えが返ってきます。このことは「住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けていきたい」という願いだと思えます。一方で、高齢化が進展し、認知症の高齢者の方々や一人暮らしの高齢者の方々が増加するなか、支援や介護を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で尊厳ある生活を可能な限り継続できるように体制の整備が必要になっていきます。ここで、お一人おひとりに支援が必要になった時にその方に組み立てる支援を「地域包括ケア」、そ

## ささえりあ帯山勉強会の紹介

ささえりあ帯山ではスタッフの知識・技術の向上を目指すため、月に一度勉強会を開催しております。昨年度は「ケア会議で学ぶ精神保健ケアマネジメント」という本をもとに、利用者様の生活を一緒に支えていくためにはどのような協力ができるのか・・・などを学びました。



参考書

今年度は「地域福祉援助をつかむ」という本をもとに“個を地域で支える援助”や“個を支える地域をつくる援助”など地域の方々との協力しながら、その地域で暮らしている方々の生活上での問題点を明らかにし、それに対応していくには、地域包括支援センターとしてどのようなお手伝いができるのか・・・を学んでいます。



勉強会の様子

その他、権利擁護や認知症についての外部研修にも参加をさせて頂き、スタッフ同士が研修で学んだことを再確認する・共有する為に、勉強会の時間を使って復命も行っております。

## 「地域包括ケアシステム」って何だろう・・・

「地域包括ケアシステム」と呼んでいます。具体的には、高齢者の方の困りごとに応じて、介護サービスや予防サービス、医療、見守り等の生活支援サービス、そして住まいを適切に組み合わせ提供し、地域社会全体として、24時間365日を通じた対応が可能になる仕組みをつくることになりま

す。この実現には、ほぼ生活圏域である中学校区での公的なサービスのみならず地域住民やボランティア等のインフォーマル（制度ではない地域のサポート）な社会資源も含まれ、それぞれが繋がりが一緒に対応していくことが必要になります。センター長 那須久史

### 第3弾

### わが校区自慢

### レストラン編

第三回目の校区自慢は、託麻原校区にありますユースピア熊本(熊本県青年会館内の『レストラン光』)さんのご紹介です。喫茶や軽食はもちろんのこと、日替わりランチ(六〇〇円)は、地域の方にも大変人気でお勧めです。(・残念な事に、取材当日は予約でいっぱい、ランチをいただけませんでした。ガツカリ・・・)数名でのお食事の際は、事前に電話連絡で注文して行かれると、待ち時間も少なく快適にお食事が楽しめます。また、毎週日曜日は朝八時から『おはよう朝市』という、県内各地からの新鮮な野菜や果物の直売をされています。売切れ次第終了となりますので、早い時間が穴場ですよ！ご近所の方をお誘い合せの上、お出かけされてみてはいかがでしょうか★

【お問合せ】

096-381-6227  
 熊本市中央区水前寺3丁目17-15



## 新人紹介

4月にフォレスト熊本から異動となりました、高崎恵美です。地域の皆様と一緒に、地域の支えになりたいと思っています。頑張りますので、宜しくお願い致します。

【趣味】登山  
 いつか世界遺産の富士山に登りたいです!

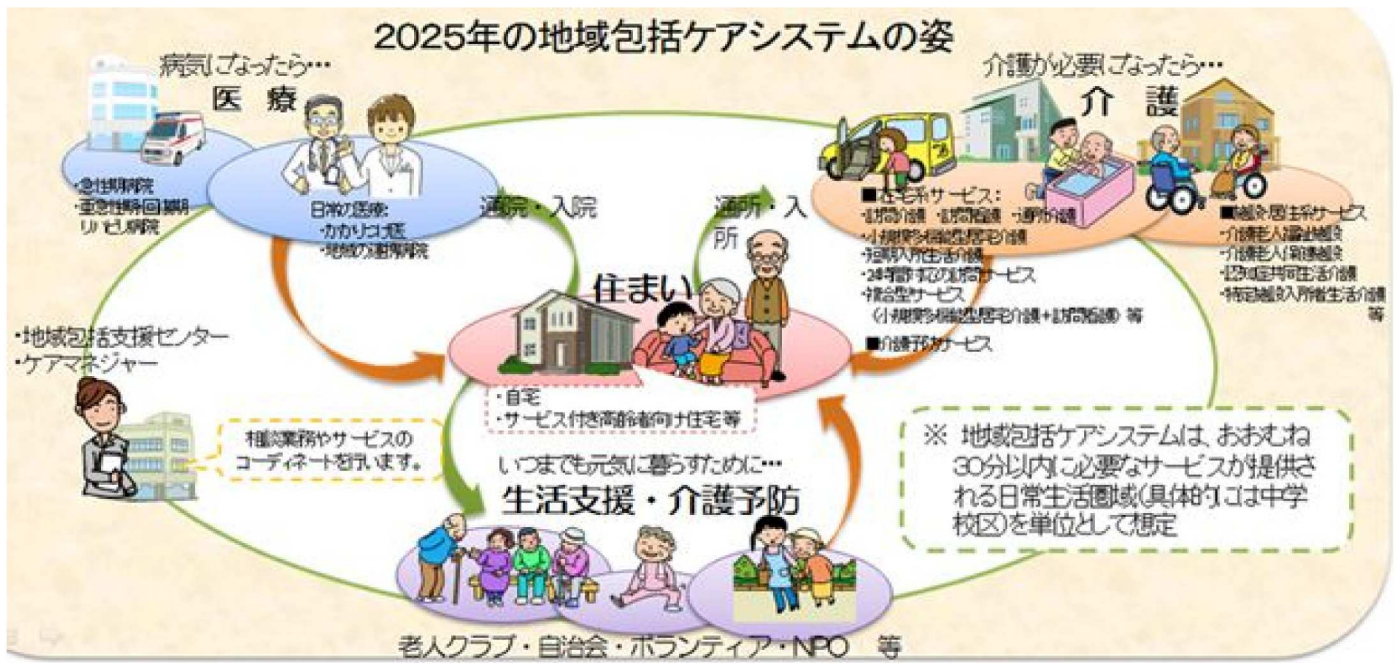


★編集後記★

毎日、蒸し暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？熊本市が政令指定都市に移行してから一年が経ちました。私は業務上、熊本市全域を回っていますが各区で特色が違うのを目の当たりにしました。特色は違いますが、共通していることは“熊本市の人達はやさしい”ということです。現在の職種に携わって色々な人達と関わる機会が多くなりました。改めて人とのつながりの大切さを実感しています。

認知症地域支援推進員

牛島 太郎





# 地域の活動紹介

ささえりあ帯山では、各校区のサロンに定期的に参加をさせていただきます。今回は、地域住民の方々の拠点となるような集いの場（サロン）を、いくつか紹介させていただきます。

## ● 帯山隣保組サロン（山西さん家の茶合会）

発足は、約1年半前。「遠くの子供を頼るより近くのお隣さんが一番。月に1回は会いましょう!」という動機からサロン発足に至りました。（山西さん談）

世話人代表の山西さんは、自治会役員も歴任されており、近隣のゴミ置き場移動への陳情・道路の水はけ改善・地域のゴミ捨て声かけ活動等に取り組み、長年に渡り地域福祉にご尽力さ

れてきました。サロンの開催日は、ご近所の皆さんが集まりやすい日時で設定されており、参加人数は7~8名程です。最近の活動では、8月の終戦記念日に向け、広島・長崎に送るための千羽鶴を、皆さんで協力して折っていらっしゃいました。



世話人代表の山西さんです



皆さんで談話中



祈りをこめて...

## ● なごみ会（生き生きサロン）託麻原校区9町内

「地域の絆を大切に、和気あいあいの会」をモットーに、平成19年7月に発足し今年で6年目を迎えるサロンです。開催日は、原則として偶数月の第三水曜日、託麻原地域コミュニティセンターにて、午前10時~12時を予定に行われています。二子石福祉部長と4名の民生委員、福祉推進委員で企画運営されており、

サロンの内容としては、前半は勉強会やレクリエーション、後半はスタッフの方の手作りの食事会です。毎回40名程の参加があり、お一人暮らしでおしゃべりをする機会の少ない方などが、食事をしながら交流を深められ、あっという間に時間が過ぎていくように感じます。



二子石福祉部長のお話



吉村さんのハーモニカ伴奏で台唱



バイキング形式でのお食事です!

## ● 帯山西おしゃべりの会

「会発足となったきっかけは、鹿児島から転居して来られたお一人暮らしの方。はじめは地域の方との繋がりがなく、老人会等の参加もされない孤立した方でした。」民生委員の間で『気軽に皆が集える場所を創りましょう。参加者や開催側が気軽に楽しみながら活動できる無理のない活動をしましょう!』と、発足につながったそうです。今年で発足3年になるこの会は、参加者約20人。会では各民生委員さんが自宅にある物で美味しいデザートを作り、毎回参加者に振舞われてい

ます。また、参加者全員が必ず喋って帰るような雰囲気作りを心掛けておられ、この日初めて参加された方お二人に感想を尋ねたところ「不安だったが来て良かったです」と笑顔でお答え頂き、みんなが楽しく元気になる空間だと感じました。最後に民生委員さんから、地域の方々が気軽に集まれる場所が、今後各地域でもっとたくさん出来て欲しいとお話しされました。



民生委員さんお手製のデザートです!



自慢の踊りを披露!



担当の民生委員さんです

### 取材者から一言

今回、ご紹介させていただきましたサロンの他にも、まだまだたくさんのサロン活動が行われています。各校区のサロンには、それぞれの「特色」や各民生委員さんの「思い」があり、参加される方は皆さんとても楽しまれています。趣味やふれあいを通じて家庭での閉じこもりを防ぎ、地域の方との交流で、支え合いの輪をさらに広げることができるのではないのでしょうか。

## 居宅・包括連絡会の開催

去る6月18日に、居宅・包括連絡会をフォレスト熊本・5階にて開催しました。

今回は、中央区役所福祉課・障がい福祉係長の永楽悦子氏に「自立支援と障害について」と題して、講話をお願いしました。介護保険ではケアマネジャーが、利用者の生活状況を把握し必要なサービス調整を図りますが、障がい者の場合は区役所の障がい福祉係が同じような役割を担っているとのこと。利用者によっては2つの制度を併用される方もいらっしゃいます。連携を密に取っていくことの必要性を改めて認識しました。



▲ 永楽氏の講話中



▲ みんな真剣です